

福井

「福井全研ニュース第 3 号」

「ぼ〜れぼ〜れ 1 月号」福井県版特別号

発行日 平成 30 年 1 月 25 日
編集・発行 公益社団法人 認知症の人と家族の会 福井県支部
事務局 〒910-0017
福井市文京 2-9-1 嶺北認知症疾患医療センター
TEL : 0776-28-2929 FAX : 0776-63-6756
E-mail: monowasure@fmatsubara.com

ヒストリー福井 プロローグ〜第 1 章「紫式部と福井」

全国研究集会福井開催が決定以後、平成 28 年 4 月号から「私たちの故郷」というタイトルで福井県支部だよりの表紙に福井県の風物を紹介してきました。

昨秋、徳島全研で「ベートーベン第九交響曲」の歴史に感銘を受け、全研ニュース毎に福井の歴史を勝手に紹介しようと思います。第 1 回目は「紫式部と福井のつながり」を紹介します。

996 年、紫式部の父が越前の国の長官(越前国司)となり、紫式部は父と共に越前国府(こくふ)現在の越前市辺りへ移り住みました。

紫式部が都を離れて暮らしたのは、あとにも先にもこの時だけで、国府での生活や都との往来の旅は、式部の作品にさまざまな影響を及ぼしたといわれています。

都への懐かしさや越前で暮らす寂しい気持ちを込めた和歌が、『紫式部集』に収められ、日野山に降り積もった雪を眺めながら詠んだ歌

「ここにかく 日野の杉むら埋む雪
小塩の松にけふやまがえる」

が代表として残っています。

また、紫式部が過ごしたとされている越前市には「紫式部公園」があり、県民に親しまれています。



紫式部公園は、総面積約 300 坪の寝殿造り風の庭園で貴族が舟遊びしたという池、そして、池の際には釣殿もある。この庭の一角に紫式部像が京の都を向いて立っている。

「いざ！！全研へ！！」

「福井全研は若い力で盛り上げていきます！」

徳島県で開かれた全国支部代表者会議での次年度開催県支部の挨拶です。その時から始まった「第 34 回全国研究集会是『若い力』で」がプレッシャーでもあり、私たちの原動力ともなっています。

現在、研究集會を今までとは少し違う見せ方ができないか試行錯誤をしています。熱が入り、思い思いのアイデアややりたい事が溢れ出ています。



12月14日 西川福井県知事へ表敬訪問



写真左より坂田事務局次長、阿部本部事務局長、鈴木本部代表、西川知事、松原代表、坂井副代表、ご本人代表坂井裕子氏

家族会本部より鈴木代表はじめ 3 名、福井県支部松原代表等 6 名が雪の降る中、福井県庁を訪れ西川福井県知事へ表敬訪問をしました。

鈴木代表が来年福井県で行われる全国研究集會への支援と指導をお願いし、松原代表が福井全研にかける認知症の人と家族の会の熱い想いを伝えました。

西川知事から平成 30 年は「福井国体」の開催年でもある為、全国的に福井が注目される年になる。福井県も応援するとお言葉を頂きました。

また、開催日時をお伝えすると、「越前かには少し早かったですね。」

とにこやかに話され、穏やかな空気の中、表敬訪問を終えました。



介護独楽吟 → 大大・大募集

「介護独楽吟」って何？

幕末の福井の歌人・国学者の橘曙覧は清貧に甘んじ家族との生活の中に喜びや楽しみを見出し、「たのしみは」で始まり「する時」で終わる歌 52 首を詠み歌集「独楽吟」として残しました。

国際会議福井県支部ポスターの一節「介護に苦しみ、悩む日々の生活の中にも楽しみを見出したい」という願いは、独楽吟の世界に通じるものです。

そこで、福井県支部の「1泊2日研修交流バス旅行」の車中で介護生活の中での楽しみや喜びを「介護独楽吟」として参加者全員が悪戦苦闘して2首作りました。

この全研ニュース第2号でその一部を紹介しました。今後順次紹介させていただきます。

認知症の人と家族に対する理解と支援を多くの皆さんに求めるため私どもの「介護独楽吟」を全研会場だけでなく福井市内の公共機関等に掲示させてもらいたいと考えています。

多くの皆様から「介護独楽吟」を福井県支部にお寄せいただきたいと思います。

送付先 認知症の人と家族の会福井県支部事務局

〒910-0017 福井市文京 2-9-1 嶺北認知症疾患医療センター

FAX: 0776-63-6756 E-mail monowasure@fmatsubara.com

福井県支部 「介護独楽吟」

「1泊2日研修交流バス旅行」車中にて

たのしみはランチに出かけ亡き母の

想い出姉と語り合うとき

介護卒業生 五十代 女性

たのしみは鶉に負けず作物を

収穫して料理するとき

介護者 六十代男性

たのしみは夫の得意な山椒もぎ

ともにやり終え湯船に浸るとき

夫の介護者 七十代女性

たのしみは家族のような家族の会

また会いましょうと手を振るとき

介護専門職 五十代女性

たのしみは偶数月の年金日

妻の料理が一品多いとき

要介護者 六十代男性

たのしみは寝て待って朝起きてみると

我が家で楽しい笑顔を見るとき

介護者 五十代男性

運営委員の声

西川福井県知事との会談後、支部代表者会議・全国研究集会で使用する会場の視察を行いました。

「まだ7カ月。もう7カ月」と気が焦るばかりです。

当日福井市で一番大きな会場「フェニックスプラザ」を使用する事になり、どのように有効活用できるのか？動きやすい会場作りの為には？

これから運営委員は眠れない日々になりそうです。

支部会・懇談会の会場は福井の繁華街にあります。

今後全研ニュースで美味しいお店などの紹介を予定しています。

楽しみにしてください♪



越前海岸に咲き誇る県花スイセン